

# 「CIRCULATION CLUB」

## フェーズ1 プロジェクトレポート

2019年9月22日

株式会社まちづくりエイティブ

### 主催団体

株式会社まちづくりエイティブ

まちづくりエイティブは、自立的な地域活性をデザインするまちづくり会社です。ターゲット地域を絞り込み、小さな範囲で歴史文脈に根差したエリアブランディングを構築することから始まる、総合的なエリアマネジメントを提供しています。創造的な人々が集まる「仕組みづくり」や地域と密着した「体制づくり」を通じて、新たな地域事業の創出に取り組んでいます。

### プロジェクト概要

「CIRCULATION CLUB」は、「不用になったものに新しい時間を宿す」や「視点を変えることで新しい価値を見つける」ことを活動の核とし、不用になったものが新たな循環を生み出す取り組みにチャレンジするものです。第一弾として、エコランドの「エコ回収」においても課題となっている、再利用ができなかった家具などの廃木材を活用したプログラム開発を行います。

### フェイズ1活動内容・成果

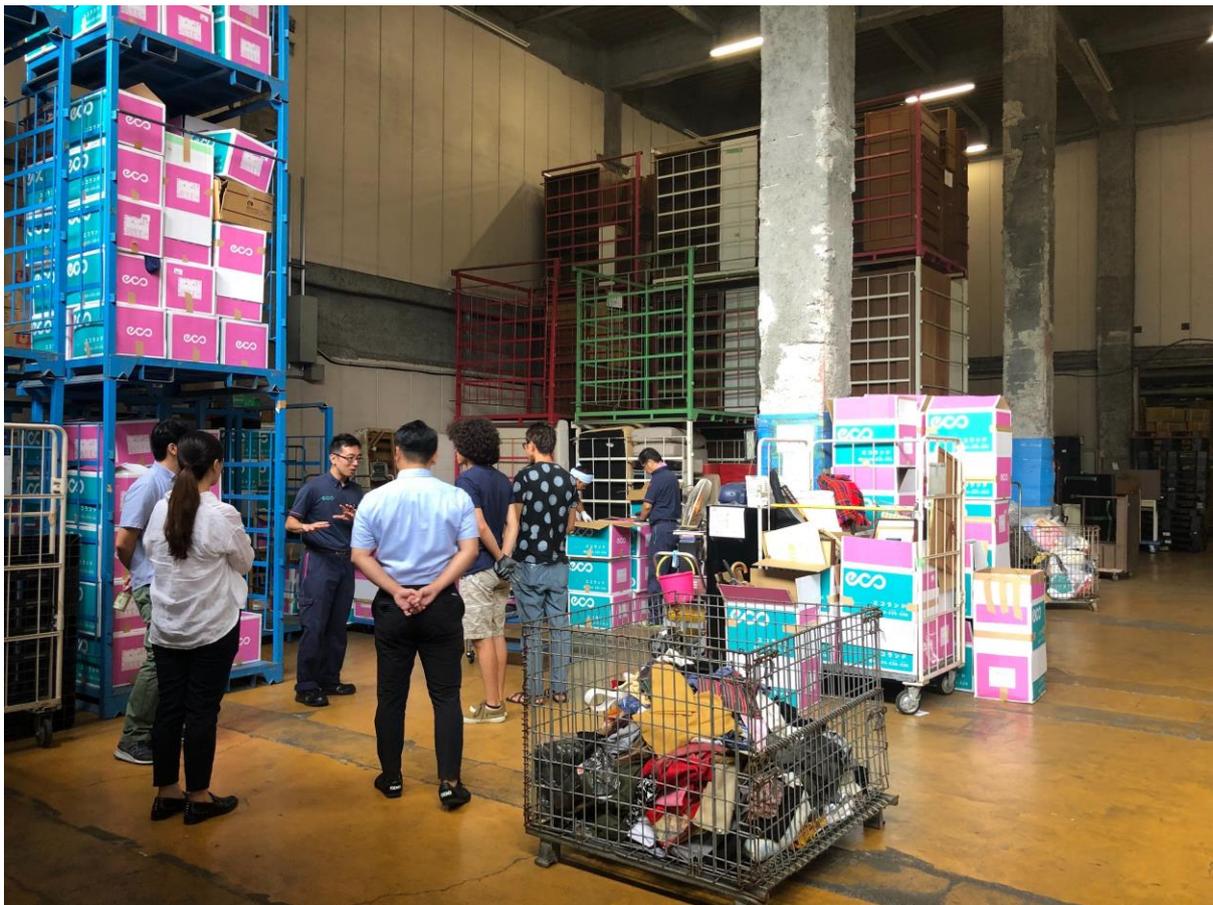
本プロジェクトの第1フェイズにおける具体的な取組として、まず始めに国内外のアップサイクル事例を研究し、これから取組むべきプロジェクトの方向性や枠組みを検討しました。その後、プロジェクトのネーミング企画、VI開発およびバリエーション策定、廃材活用における協業アーティストの候補者リサーチ、エコランドの東村山倉庫視察、試作品の制作・検討などを行いました。



打合せ風景



活用予定の廃木材

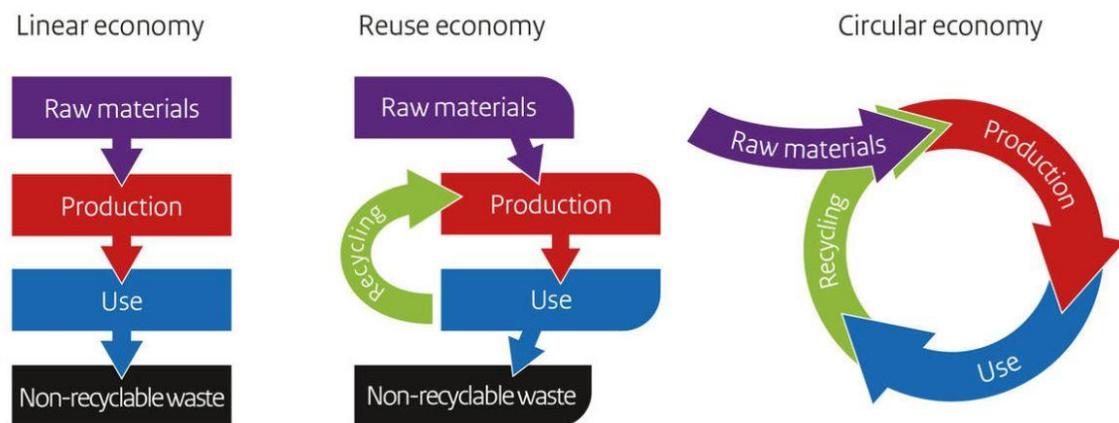


東村山倉庫視察の様子

「CIRCULATION CLUB」のネーミングについて、「CIRCULATION」という言葉は次世代のエコや循環を意味する「CIRCULAR ECONOMY」（サーキュラーエコノミー：循環経済）として使われて始めている言葉であり、そこに親しみやすいワークショップを行う集団としての「CLUB」を組み合わせました。世界的な潮流として、国連環境計画（UNEP）や欧州を中心に「都市全体をどう循環型に変革するか」という大きな視点での取り組みが始まっています。社会的に注目されている用語と、親しみのある言葉を組み合わせることで、汎用性の高いネーミングになっています。

（※VIデザインについては近日公開予定です。）

## From a linear to a circular economy



参考：オランダ政府「From a linear to a circular economy」より、サーキュラーエコノミー（循環経済）イメージ図<https://www.government.nl/topics/circular-economy/from-a-linear-to-a-circular-economy>

今後は、プロジェクトにまつわるウェブサイトページの開設、取り組みの取材および記事配信、本プロジェクトのプログラム制作における協業アーティスト決定、廃木材を利用したワークショップ開催に向けたプログラム作成、2020年初旬を目途にワークショップを実施する予定です。

以上